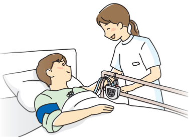
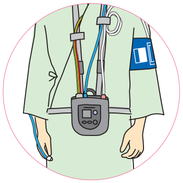
新商品紹介

NIBPに対応した「ちいさな」送信機 ZS-640P





送信機は、患者さんの心電図や SpO_2 等を測定し、ナースステーション等にあるセントラルモニタに無線で送信するための医療機器です。

ZS-640P は、日本光電独自の非観血血圧測定技術である **「iNIBP」** を搭載するとともに、より **「ちいさく」**、**「かるく」** という小型・軽量化を実現した、患者さんにやさしい送信機です。また、電極やセンサ装着時にその場で波形・数値を確認できるなど、医療現場で求められている業務効率の改善と医療安全をサポートします。

トピックス

ケニアに支店を開設

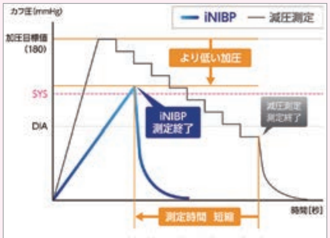
当社は、東アフリカ地域の販売体制を強化するため、ケニアのナイロビに日本光電ミドルイースト株式会社の支店として「日本光電イーストアフリカ」を開設しました。

アフリカ地域では、経済成長に伴う医療インフラの整備が進み、今後一層の医療機器市場の成長が見込まれます。ケニア支店の開設により、東アフリカ諸国計 22ヵ国における代理店サポートを強化し、顧客満足度のさらなる向上を目指します。

当社は、中期経営計画「TRANSFORM 2020」において、拡大する新興国市場の医療ニーズに応える戦略的事業展開に取り組んでいます。今後も海外事業の強化・拡大を図るため、地域に密着した事業基盤の構築を進め、高品質かつ先端的な医療機器を提供し続けてまいります。

用語解説「iNIBP」

患者さんの腕に巻いたカフを加圧しながら脈波を検出することで、より短い時間、より低い加圧で非観血血圧を測定する技術です。患者さんへの負担を軽減するとともに、血圧値を速く知ることができます。



iNIBP(直線加圧測定方式NIBP)の概要